



写真 勇壮な舞いを披露する臼澤鹿子踊

岩手県の大槌町と気仙沼との交流イベントが4日、気仙沼市南町の「紫市場」で開かれた。同町の伝統芸能「臼澤鹿子踊」が早期復興、商売繁盛などを祈願した。

「つながろう大槌・気仙沼」を合い言葉にした被災地同士の交流。大槌町からは臼澤鹿子踊のほか、音楽集団「和美東」の公演もあった。気仙沼の少女グループSCK45の歌などが披露された。

臼澤鹿子踊保存会長の東梅英夫さんは「お互い復興に向けて走り出している。交流を通してアイデアを出し合いながら一日も早い復興を目指したい」。紫市場の坂本正人副理事長は「元気をもらった。今度は気仙沼から大槌に行って、もっと交流を深めたい」と話していた。